

多彩なフィールドで活躍できる、万能エンジニア！

電気・設備システム科

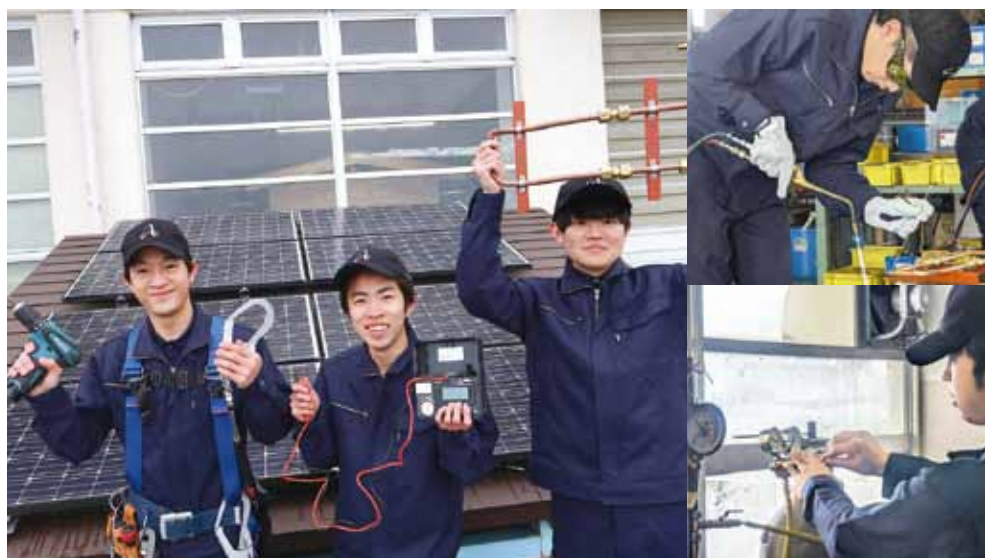
HPはコチラ



職業能力開発校
定員30名／2年間

どんな資格が取れるの？

- 電気工事士(第一種、第二種)
- 施工管理技士補(1級、2級)
- 消防設備士(甲1類、甲4類)
- 第三種電気主任技術者 など



電気工事(スイッチやコンセントなど)、配管工事(水道・ガス・エアコン)などの設計・施工技術を習得し、建築設備業界で活躍できる人材を育成します。

電気工事・設備工事技術

住宅や工場などの建築物にかかる電気工事や空調設備および給排水衛生設備の設計・施工技術を学びます。



再生可能エネルギー関連技術

ZEH(ゼッチ)やZEB(ゼブ)に関する施工や設備メンテナンスに関する知識および技術を学びます。



建築設備分野のデジタル化技術

BIM(3DCAD)、タブレットを活用した設計・管理やネットワーク構築に関する技術を学びます。



卒業後は何になれるの？

電気工事技術者



発電所でつくられた電気は送電線、配電線を経て、家庭や工場、オフィスまで運ばれ安全に使用されます。この安全に使用できる電気設備を施工する仕事が「電気工事士」です。また、電気設備の安全管理をする仕事が「電気主任技術者」です。

設備工事技術者



水道、ガス、エアコンには液体や気体で目に見えないモノも使われています。これらを安全に使用するために、水道管やガス管、空調設備を施工する仕事が「建築設備技術者」です。

設備保全・その他



工場では、製品を製造するだけでなく、製造設備の制御や工場内の電気設備の保守とメンテナンスを行う「設備保全」の仕事があります。また、大きい建物で消防設備の定期点検等を行う「消防設備士」があります。

2026年4月(令和8年度)から「電気・設備システム科」へ 「電気配管設備科」は

01 資格取得の取組を強化



電気や設備(給排水・衛生・空調)の仕事をするためには、国家資格が必要です。2年間の中で、講習等で取得できる資格や免許から難易度の高い資格まで挑戦します

- 1年生の10月からコース別で訓練開始(電気コース・設備コース)
- 10種類以上の取得も可能 ★下表に資格一覧記載★
- 一級施工管理技士※1は19歳から受検可能

※1 施工管理技士とは建設現場で全体の進捗や品質の管理や、工程表作成、工事計画の立案などをする仕事(現場監督とは多少異なります)



取得目標の資格 受験スケジュール

1 年 生													2 年 生																
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3						
●第二種電気工事士						●第一種電気工事士																							
									●2級施工管理技士 (電気工事・管工事)				1級施工管理技士● (電気工事)				●1級施工管理技士 (管工事)												
●第3種電気主任技術者													●消防設備士(甲種第1類、甲種第4類ほか)																
													●技能五輪(冷凍空調和機器施工)				●技能五輪 (配管)												
●ガス溶接技能講習													●玉掛け技能講習				●安全衛生特別教育(小型車両系建設機械)												
●安全衛生特別教育(アーク溶接)													●小型移動式クレーン運転技能講習				●安全衛生特別教育(研削砥石)												

●赤字 資格試験により取得可能 ●黒字 講習等により取得可能

02 スマートハウスで学ぶ 見えるエネルギー管理



カーボンニュートラルを実現するためには、住宅の省エネルギー化は必須となります。最新の省エネ住宅であるZEH(ゼッチ)※2を見据え、太陽光発電設備や蓄電池に加え省エネ家電を使用して、知識と施工技術を習得します。

- 模擬家屋・創エネ・蓄エネ・エネルギー管理の一体型システムによる実習設備
- 発電・蓄電から電気自動車の充電設備まで完備

※2 ZEH(ゼッチ)とはnet Zero Energy Houseの略で、一般住宅において使用するエネルギーを再生可能エネルギーで自家発電しエネルギー収支をゼロにする住宅



03 建築設備分野のIoT技術を習得



建築設備業界では人材不足の解消や作業効率の向上を図るため、業務のデジタル化(建設DX)を推進しています。そのデジタル化に必要なとなるネットワーク機器の設定や操作技術を習得します。

- BIM(3DCAD)※3による設計・積算技術の習得
- タブレットを活用した施工管理技術の習得
- 管理システム全体のネットワーク構築スキルの習得

※3 BIM(ビム)とはBuilding Information Modelingの略で、PC上に3Dの建物モデルを作成し、設計・施工・運用管理に活用

